

30P1-pm004

アジリジン合成中間体としたピロリジン型アルカロイドの合成研究

○近藤 友香里¹, 鈴木 紀行¹, 熊本 卓哉², 石川 勉¹ (¹千葉大院薬, ²武蔵野大薬)

〈目的〉 1-epiaustraline (**1**) や DMDP (**2**) のようなピロリジン型アルカロイドは興味深いグルコシダーゼ阻害作用を示す。今回、我々がこれまでに見出している新規循環型アジリジン環形成反応と、ヨウ素を用いた閉環反応を利用した **1** や **2** のようなピロリジン環骨格の構築を目指し、研究を開始した。

〈実験結果〉 既存の方法により、アジリジン **5** のシス体、トランス体をそれぞれ 80% 程度の ee で合成したのち、酸による開環反応、続いてヨウ素を用いたジアステレオ選択的な閉環反応を行い **8** 及び **9** を得た。**9** は置換反応、脱保護を経て DMDP (**2**) へと導いた。**8** は今後 1-epiaustraline (**1**) へと導く予定である。

